

# 施策

## 7

### 子育て家庭への支援

主管部長(課) こども未来部長(子育て支援課)  
 関係部長(課) 総務部長(総務課)、こども未来部長(こども政策課、保育課)、生活支援部長(保護第一課、保護第二課)、教育委員会事務局次長(庶務課、学務課、放課後支援課)

**1 施策が目指す江東区の姿**  
 子育て家庭がさまざまな場面でサポートを受けることができ、楽しく子育てをしています。

2 施策を実現するための取り組み	
子育て支援機能の充実	子ども家庭支援センターにおいて、子育て相談・ひろばの実施、各種講座の開催等の子育て支援策の充実に努めます。また、児童館や保育園等、地域に密着した施設における子育て支援機能の拡充等に取り組みます。
多様なメディアによる子育て情報の発信	「子育て便利帳」などの子育て情報冊子の作成に加え、区内の各種施設における乳幼児向け設備の情報など、区民が必要とする育児情報を、紙媒体やケーブルテレビ、インターネット、携帯電話等さまざまなメディアを活用しながら、子育て家庭のニーズに合わせ発信していきます。
子育て家庭への経済的支援	児童手当等の支給や子ども医療費助成等により、子育て家庭の生活面における経済的支援を行います。また、認可外保育施設等に子どもを預ける家庭の育児費用負担の軽減を図ります。さらに、小・中学校児童・生徒の就学を支援します。

3 - 1 施策に影響を及ぼす環境変化(法改正・規制緩和・社会状況等)	
5年前から現在まで	今後5年間の予測(このままだとどうなるか)
<p>南部地域等の急速な発展に伴い、人口の増加が続いている。特に豊洲地区では急激に人口が増加しており、平成18年に67,533人だった人口が平成22年には84,800人となり、25.6%増加している。</p> <p>18歳未満の児童人口については、平成18年の56,580人が、平成22年には62,221人となり、10%の増加となっている。全国的な少子化傾向の中において江東区では「多子化」ともいえるべき傾向がみられる。</p> <p>子育て家庭への経済的支援では、平成22年4月より「平成22年度における子ども手当の支給に関する法律」が施行され、児童手当に替わって子ども手当の支給が開始されるとともに、「公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律」が施行され、高等学校の授業料について公立は無償、私立は一部助成されることとなった。</p>	<p>平成21年に実施した将来人口推計では、マンション等大量の住宅供給の影響を反映して、平成26年の総人口は約49万人となる見通しとなっている。このうち年少人口(0歳~14歳)は、平成26年には63,382人となり、年少人口構成比は平成26年に12.9%になると推計されている。</p> <p>また、子育て家庭を取り巻く経済状況は引き続き厳しいものが見込まれるため、高等学校等への進学にあたり、授業料については負担軽減がされたものの、奨学資金を必要とする家庭は一定数見込まれる。</p>

3 - 2 施策に関する区民要望・ニーズの変化	
5年前から現在まで	今後5年間の予測(このままだとどうなるか)
<p>平成21年3月に実施した「江東区民子育てニーズ調査」では、子育てに「非常に不安や負担を感じる」、「なんとなく不安や負担を感じる」という回答を合わせると、就学前児童のいる家庭では51.7%、小学校児童のいる家庭では46.7%が、子育てに不安や負担を感じていると回答している。また、仕事と家庭生活のバランスについては、就学前児童の保護者で出産前後に離職した人は38.7%となっている。このうち42.0%の人が、「仕事と家庭の両立を支援できる環境が整っていたら継続して就労していた」と回答している。</p> <p>子ども家庭支援センターの子育て相談の件数は、平成18年度には4,849件であったが、平成22年度には12,420件に増加した。</p>	<p>核家族化の進展や、急速な人口の増加による子育て家庭と地域社会のつながりの希薄化などが、子育て家庭に様々な影響を与えており、子育てに不安感・負担感を感じる保護者の増加が予想される。家庭、地域社会、企業、行政の連携を推進し、地域としての子育て対応力の向上を図る取り組みが必要である。また、ワークライフバランスを推進し、誰もが子育ての楽しさや喜びを実感できる社会の実現が求められている。</p> <p>保育サービスでは、認可外保育施設利用者も多く、負担軽減補助金受給者についても増加している。</p>

**3 - 3 国・都などの方針・基準等に基づき実施するため区の権限が限定的な事業**  
 「子ども手当支給事業」、「児童扶養手当支給事業」は法律(「平成二十二年度等における子ども手当の支給に関する法律」、「児童扶養手当法」)に基づき実施するため、区の権限が限定的である。

4 施策実現に関する指標		単位	現状値 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 26年度	指標 担当課
27	子育てがしやすいと思う保護者の割合	%	46.6	47.7					75	子育て支援課
28	子育てひろば利用者数	人	235,444 (20年度)	275,631					263,800	子育て支援課
29	区内の子育て情報が入手しやすいと思う保護者の割合	%	46.4	52.3					75	子育て支援課
30	認可外保育施設保護者負担軽減事業の助成件数	件	14,913 (20年度)	20,722					32,800	保育課

5 施策コストの状況					
	22年度予算	22年度決算(速報値)	23年度予算	24年度予算	
トータルコスト	16,093,573千円	15,265,914千円	18,627,542千円		
事業費	15,404,607千円	14,631,829千円	17,914,848千円		
人件費	688,966千円	634,085千円	712,694千円		

6 一次評価 主管部長による評価	
<b>(1) 施策における現状と課題</b>	
<p>核家族化の進展や地域コミュニティにおける結びつきの希薄化などにより、子育てに不安を持つ家庭や、地域社会において孤立感を感じる家庭が増えている。景気動向を反映して、経済的不安を抱える子育て家庭も少なくない。子育て家庭の不安感・負担感の増大の背景には、保護者の働き方の問題も要因として存在している。</p> <p>経済雇用情勢が悪化する中、経済的自立を図るための母子家庭自立支援事業の給付金利用者は増加傾向にある。被保護世帯数における母子世帯の割合は5%台で推移しており、DV・精神的不安・経済的不安等、様々な問題が複雑に絡み合い自立の阻害要因となっている現状がある。このような世帯を支援するため、母子緊急一時保護事業による適時適切な対応、母子生活支援施設の活用、母子・児童関連施設との円滑な連携、就労支援の強化が重要である。</p>	
<b>(2) 今後5年間の施策の取り組みの方向性</b>	
<p>子育て不安感・孤独感の解消を図るため、子育てひろばの充実や子育てグループへの活動の場の提供を行い、親子の交流や情報交換、仲間づくりの機会を提供するとともに、子育てに関する相談支援体制の一層の充実を図る。子育てポータルサイトなどの機能を踏まえ、子育て支援に関する情報提供基盤を拡充し、情報発信や情報提供に取り組む。子育てに関する学習の機会を提供するとともに、子育て講座等、子育て中の保護者が子育てについて学べる機会を提供する。区独自の子育てボランティア「子ども家庭支援士」の育成など、地域の人材育成に取り組むとともに、NPO、子育てグループ活動など地域活動との連携を推進し、地域としての子育て対応力の向上を図る。また、子ども家庭支援センターを拠点として、活動の支援や、連携・交流の機会を提供していく。各種手当等の支給により、子育て家庭への経済的支援を行う。また、認可外保育施設にこどもを預ける家庭に対し、育児費用負担の軽減などを行う。男性の育児参加を推進するため、区民や企業への啓発を行い、誰もが職業生活と家庭・地域生活を両立できる環境づくりを促進する。被保護世帯の経済的自立を支援するため、就労能力・意欲を活用できるよう就労支援員を引き続き配置し、就労支援プログラムによる計画的支援を強化する。また、ハローワークとの連携を強化し、組織的な支援体制の構築を図る。母子世帯に対する指導援助にあたっては、児童相談所、職業安定所、民生委員、母子自立支援員、婦人相談員等との連携に努める。また、ひとり親施策の活用、給付金制度、訓練給付金、母子自立支援プログラム等を用いて自立を支援する。高等学校の授業料については負担軽減が図られたものの、厳しい経済状況が続くことが見込まれることから、高等学校等への進学にあたり経済的援助を必要とする家庭には、引き続き必要な奨学資金の貸付を行い、有用な人材の育成を図る。</p>	

1 施策が目指す江東区の姿
地域や、教育にかかわる機関と連携・協力することにより、開かれた学校が実現しています。

2 施策を実現するための取り組み	
地域に根ざした教育の推進	地域が学校を支援するシステムを構築するとともに、地域に根ざした開かれた学校運営のあり方を検討するなど、地域の教育力を取り入れた学校づくりに取り組みます。
開かれた学校(園)づくり	広報誌の発行や、学校公開の実施などにより開かれた学校(園)づくりを推進するとともに、学校評価制度の結果の公表等により、学校運営の透明性を確保します。
教育関係機関との協力体制の構築	大学・各種企業・研究施設等と学校が連携・協力し、役割分担することにより、豊かで多様な学びの機会を提供します

3 - 1 施策に影響を及ぼす環境変化(法改正・規制緩和・社会状況等)

5年前から現在まで	今後5年間の予測(このままだとどうなるか)
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年に改正された教育基本法に学校、家庭、地域の連携協力に関する規定が新たに盛り込まれる中で、保護者のみならず、地域の方々にも教育に関する情報を発信し、理解してもらうことが必要となった。</li> <li>学校を取り巻く様々な環境変化に対応するため、地域や大学等との連携を行い、多様な教育を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や地域住民などが学校運営に参画している学校づくりが求められる。</li> <li>地域社会全体での教育を図るため、教育情報の共有化がますます求められる。</li> </ul>

3 - 2 施策に関する区民要望・ニーズの変化

5年前から現在まで	今後5年間の予測(このままだとどうなるか)
<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園、小学校、中学校との連携の充実・拡大が必要との意見がある。</li> <li>学校教育の現状や教育に関する取り組み等、教育情報発信の充実に関する要望が地域の方々からも寄せられるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育に関する情報が広く行き届くよう情報提供の充実が求められる。</li> </ul>

3 - 3 国・都などの方針・基準等に基づき実施するため区の権限が限定的な事業

--

4 施策実現に関する指標		単位	現状値 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 26年度	指標 担当課
39	地域が学校を支援する新たなシステムを構築している学校数(小学校)	校	1	1	1				10	学校 支援課
	地域が学校を支援する新たなシステムを構築している学校数(中学校)	校	0	0	1				5	学校 支援課
40	学校とのコミュニケーションがよく取れていると思う保護者の割合	%	48.7	51.3					55	指導室
41	大学、企業等と連携した教育活動を独自に行っている学校数(小学校)	校	16	16					44	学校 支援課
	大学、企業等と連携した教育活動を独自に行っている学校数(中学校)	校	4	4					23	学校 支援課

5 施策コストの状況				
	22年度予算	22年度決算(速報値)	23年度予算	24年度予算
トータルコスト	45,194千円	41,051千円	52,664千円	0千円
事業費	12,207千円	10,694千円	11,585千円	
人件費	32,987千円	30,357千円	41,079千円	

6 一次評価 主管部長による評価	
(1) 施策における現状と課題	
<p>教育への関心が高まるなか、学校・家庭・地域の連携協力を充実させるため、保護者や地域の方々への多様な教育情報の発信が求められる。</p> <p>長引く不況による保護者の就業の不安定化等がPTA活動の低迷を招いている。父親やPTA活動に無関心な層への啓発が必要である。</p>	
(2) 今後5年間の施策の取り組みの方向性	
<p>教育委員会広報を始めとする各種メディアを活用し、学校を含む行政からのきめ細やかな情報提供や、地域・保護者の活動紹介等により地域社会が一体となった教育を推進できるよう、情報発信の充実に努めていく。</p> <p>開かれた学校づくりの推進に資するよう地域の教育力の主体であるPTAの活動を支援し、活性化を図る。</p> <p>学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てていく学校支援地域本部事業を拡大していく。</p>	

# 外部評価シート

施策番号	7	施策名	子育て家庭への支援
担当班	2	委員名	

施策の目標に対して、成果は上がっているか

区民ニーズ・社会状況に対応した取り組みを展開しているか

区民との協働、国・都・民間団体等との役割分担は適切か

施策の総合評価(今後の方向性)

その他 (改善点等)	
---------------	--

# 外部評価シート

施策番号	10	施策名	地域や教育関係機関との連携による教育力の向上
担当班	2	委員名	

施策の目標に対して、成果は上がっているか

区民ニーズ・社会状況に対応した取り組みを展開しているか

区民との協働、国・都・民間団体等との役割分担は適切か

施策の総合評価(今後の方向性)

その他 (改善点等)	
---------------	--